

小糸南自治会 2024年度(第42回)定期総会 議事録

開催日時：2025年3月30日(日) 10:00～12:00

【定期総会式次第】

1. 開会挨拶
2. 議長選出
3. 議長挨拶
4. 資格審査報告
5. 議事
第1号議案 2024年度 活動報告
第2号議案 2024年度 会計報告
第3号議案 2025年度 役員の承認
第4号議案 2025年度 活動計画の承認
第5号議案 2025年度 予算の承認
6. 議長退任挨拶
7. 閉会挨拶

【議事内容】

- 1.開会挨拶
三野会長が、総会の開会を宣言した。
- 2.議長選出
三野会長が議長への立候補を募ったが、立候補者はいなかったため、三野会長に議長の選任を一任した。三野会長は3ブロックの柳澤さんに議長就任を依頼し、出席者の同意を得て、柳澤さんを議長に選出した。
- 3.議長挨拶
柳澤さんから、ご使命ですので議長の席につきますとの挨拶があった。
質問は報告の後に受け、一人一問という質疑の方法に関するお願いがあった。
- 4.資格審査報告
11ブロック小澤さんが資格審査の結果を発表した。
自治会の会員世帯数は244、本日の出席65人、委任状156件。従って、委任状を含めた出席数は221で、会員数の過半数になり、小糸南自治会規約第13条の規定により本総会は成立していることを報告した。
- 5.議事
5.1 第1号議案…2024年度活動報告
(1)会長からの報告(定期総会議案書 1～3ページ)
【質問/意見】：なし

(2)各部会からの活動報告 (定期総会議案書 3～6ページ)
・(防犯部の報告が終わった後)各部会の報告に入る前に報告者の名前を教えてくださいとい

う要望があり、即、対応した。

- ・会館管理の担当者から、座布団の洗濯後のカバー掛けが少々負荷のかかる作業なので、会館管理担当だけでなく、次年度は役員会で負荷を分担する方法を検討することをお勧めする旨の発言があった。座布団を利用している会のメンバーから、利用しているもので対応するという申し出があった。次年度の役員会で検討することになった。
- ・会館の管理に関して、外灯修理、玄関の人感センサーの修理、トイレ水漏れの修理等、10ブロックの川崎さんに支援していただいて実施できたという報告と、川崎さんへのお礼の言葉が、会長と会館管理担当者から述べられた。
- ・小糸市民の家運営委員からの報告の補足:市の施設を利用予約システムの使い方が分からないときの窓口を7ブロックの荻原さんと7ブロック寺田さんをお願いしている。

[質問/意見]

- ①社体協の夏祭りのありかたについて、キッチンカーは外部の業者が運営して、売上はすべて業者に入ると聞いている。自治会から人を6人出して、調理・梱包・販売まで協力しなければならぬのは疑問だ。手伝いを自治体から出さなければならぬのであれば、お手伝いの代金を自治体に入れる仕掛けを社体協本部で考えていただく必要があるのではないか。

[回答]

上田社体協会長が回答した。

次年度は業者から社体協に戻してもらうことを検討しようと考えている。また、今年度(2024年度)の社体協の働きぶりを見ると、業者抜きでもできないか検討してもらおうと考えている。

- ②社体協に限定した話ではないが、自治会が発足して約40年経過し、かつ高齢化しているので、組織を見直すことを次年度のテーマとしてほしい。

[回答]

次期役員会で検討させていただくことにする。

(3) 専門部会の活動報告(定期総会議案書 6~7ページ)

[質問/意見]: なし

(4) 特別部会の活動報告(定期総会議案書 7~10ページ)

- ・自治会館検討委員会は特別部会ではなく、役員会の下の委員会であるという指摘があった。

[質問/意見]

- ①自治会館検討委員会の検討内容の中で、耐震化も検討対象になっているのか。

[回答]

耐震化については議論した。自治会館は新建築基準で建てられているので大きい問題はないと考えている。ただ、リフォームする際の耐震については、業者とリフォームのやりとりをする際に、業者に相談する。(補足の発言)自治会館は新建築基準(昭和56年制定)で建築されているということ、新建築基準を満たしている建物は、耐震診断/耐震化工事の補助対象にはならない。2×4(ツーバイフォー)は比較的に地震に強いと言われている。また、平屋でかつ、(人が常時住む)住居ではないので、耐震化についてはリフォー

ムの中で業者と話したらいいのではないかということで進めている。ホールと和室の一体化をした結果、耐震基準を満たさなくなったというようなことにはしないので、安心ください。

- ②(IH化についての補足)ガスをほとんど使っていないにもかかわらず、契約しているため基本料金を支払っている。IH化して、ガスの契約をやめると基本料金の分が節約できるのではないかという見通しで検討している。

(5)小糸南連絡協議会の活動報告(定期総会議案書 10ページ)

[質問/意見]：なし

第1号議案は承認された。

5.2 第2号議案…2024年度会計報告

(定期総会議案書 11～12ページ)

会計の収支の報告を終えたのち、支出の部で、支出合計に誤りはないが、費目(項目)分けに誤りがあるので訂正すると報告された。

日本赤十字への募金を25,385円支出していたが、費目を外部団体年会費に計上していた。訂正して、費目「日本赤十字」に25,385円を加え、費目「外部団体年会費」から同額を減じる。正誤表を6ページ、訂正後の会計報告を7～8ページに記載。

[質問/意見]

- ①赤い羽根募金は何に使われるのか募金に応じる側には不明だ。募金は上納金ではなく、本来、目的が明確で、その目的に賛同して、自分の意志で募金に応じるべきだ。例えば、能登の災害に対する募金のように。だから、赤い羽根募金は、要望された額を自治会が出すのではなく、各会員の意志を反映した額を出すべく、役員会で検討願いたい。

[回答]

行政からの要請額は目途であって、それを守る必要はないと行政には言われている。

長い間議論されてきたことなので、次年度の役員会で検討していただきたい。

第2号議案は承認された。

5.3 第3号議案…2025年度役員の承認

(定期総会議案書 13ページ)

三野会長が新役員を役職別に紹介した。

[質問/意見]：なし

第3号議案は承認された。

5.4 第4号議案…2025年度活動計画の承認

(定期総会議案書 14～17ページ)

(1)活動方針と活動計画

山田新会長が2025年度の活動計画を説明した。(定期総会議案書 14～17ページ)

- ・募金に関して、各会員の意志を反映した額を募金する場合、各世帯に役員が募金に回

る、各人が役所に持っていき、役所が集めてくれるなどの方法が考えられる。各世帯に役員が募金に回ることにすると、組織のスリム化に逆行することになるので気になる。各人が役所に持って行ってください、役所が集めてくれと言えるのかも課題がある。

- ・社体協の夏祭りの件は、いくらかのお金をいただくために手伝っているのではなく、役員の負担を減らすために業者に任せているはずだ。お金で解決できるのであれば、お金で済ませて、すべて業者に任せ、役員の負荷を減らしたい。今年も会長、副会長、社体協6人を含めた8名程で夏祭りを手伝うのかというのは気になるので検討したい。
- ・2025年度は、10年ごとに実施する建築協定の改訂の年である。建築協定には土地を分割して売買してはいけないことが規定されている。このおかげで、いい住環境が保持されているのも確かだ。一方、新しく入居するには高額のため、売りづらい面がある。建築協定を変更してほしいと思っている方もいるはず。現在の内容でそのまま継続するか、改訂するか会員の皆さんの意見を知るためアンケートを実施する予定。変えたい人が過半数の場合は、建築協定を変更する必要があると考える。変更しない場合は、10年間このまま続く。

(2) 専門委員会活動計画

山田新会長が議案書の内容を説明した。

(3) 特別部会活動計画

各特別部会の代表が議案書の内容を説明した。

(4) 連絡協議会活動計画

連絡協議会の代表が議案書の内容を説明した。

[質問/意見]

- ①社体協は夏祭りにできるだけ人を出さない方針なので検討をお願いしたい。本来はキッチンカーの業者がアルバイト代を支払うべきなのに、自治会が社体協に会費を納めた上、協力依頼があるのは腑に落ちないので、自治会から社体協に要望する際に役員会でよく話し合ってもらいたい。
- ②建築協定の内容によって、街は大きく変化する。改訂する・しない、いずれにしても慎重に進めてほしい。改訂する場合、たくさんの手続きを定まった順番に踏まなくてはいけない上、規則がたくさんあるので、慎重に進めていただきたい。

[回答]

新役員にお任せしますので、よろしく申し上げます。

- ・第4号議案は承認された。

5.5 第5号議案 2025年度 予算の承認

(定期総会議案書 18ページ)

山田新会長が、2024年度予算(案)について説明した。

2024年度予算と異なる点は次の点である。

予備費(慶弔費)を80,000円から5,000円減らして、75,000円とし、代わりに、こども応援団を25,000円から5,000円増やして、30,000にした。

[質問/意見]

- ①2024年度も2025年度も、繰越金が収入の約2倍にあたる約200万円計上されている。この繰越金の目的は何か、新旧両会長に聞きたい。会館のリフォームに使えないか？

[回答]

繰越の目的は、現時点では分からない。

(議長から)会館のリフォームに使うことになれば、予算に計上しなければならない。ただ、現時点では会館のリフォームにいくらかかるかは不明なので、まずは積立金で賄う前提で進めて、積立金では不足なことがわかってから、予備費をどう使うか考えていただければいいのではないのでしょうか。

- ②社体協の会費が2024年度は1世帯あたり100円であったが、2025年度は1世帯当たり300円になっている。この理由と、会費を何に使っているのか説明してほしい。

[回答]

上田社体協会長が回答した。

社体協の規定では300円ですが、事情によって減らすことができることになっています。会費の主な使い道はかつてはレクリエーション大会でした。市の補助金273,000円だけでは不足していたので各自治会に分担金をお願いしています。コロナ以降はレクリエーション大会ではなく、スポーツ大会に変わり、かつてのレクリエーション大会ほど盛大でなくなり、費用がかからなくなりましたので、2024年度は1世帯あたり100円にしました。今年度も1世帯あたり100円にする予定です。ただし、スポーツ大会を盛大になるかもしれないので、いずれ、200円、300円と高くなる可能性はないとは言えません。

- ③自治会内に子供は何人程度いますか。

(予算額の妥当性をチェックするための質問)

概数として、19世帯20人、今年は未就学児が3人程度増える見込み

こども応援団のイベントの出席者は、1イベント7~8人。

- ④こども応援団の活動がお母さんたちからも感謝されている状況です。予算等でご配慮くださいという、(こども応援団に属していない)出席者の声があった。

・第5号議案は承認された。

6.議長退任

議事が終了したので議長が退任した。

7.閉会挨拶

皆様のご協力に誠に感謝いたします。ありがとうございました。2024年度の総会を終わります。

以上

(注記) 本議事録は小糸南自治会のHPにも掲載されています。

【総会議案書の訂正】

2024年度(第42回)定期総会議案書の第2号議案 2024年度 会計報告の会計報告の内容の一部が誤っていました。7ページ(次ページ)と8ページに訂正した会計報告を載せました。誤っている箇所は備考欄に下線付きの備考を記述している費目です。

正誤表は次の通り。誤っているのは、「2.一般会計(支出の部)」の内容です。

正誤表

番号	誤りのある費目	誤		正	
		決算	内訳	決算	内訳
1	募金	40,000	(空白)	74,050	(空白)
2	日本赤十字	0	0	0	25,385
3	各種負担金	99,435	(空白)	74,050	(空白)
4	外部団体年会費	0	74,935	0	49,550

説明:

日本赤十字への募金を25,385円支出していたが、費目を外部団体年会費に計上していた。訂正して、費目「日本赤十字」に25,385円を加え、費目「外部団体年会費」から、同額25,385円減じる。費目「募金」は、内訳に「日本赤十字」を含むので、25,385円増える一方で、費目「各種負担金」は内訳に「外部団体年会費」を含むので、25,385円減る。結果として支出の合計は訂正前後で変わらない。

なお、この変更によって、合計額は変わりません。

また、総会でこの変更はご了解を得ています。

令和6年度(2024年度)会計報告

1. 一般会計(収入の部)

費目	予算	決算	(内訳)	備考
自治会費	882,000	884,000		244世帯×@3600(内新入会1世帯) 途中入会4世帯、途中退会2世帯
市補助金	140,000	139,490		市民組織交付金
雑収入	75,000	75,912		
			73,195	資源ごみ協力金
			800	会館利用料
			1,000	子供会寄付金
			917	預金利息
小計	1,097,000	1,099,402		
前年度繰越金	1,756,826	1,756,826		
合計	2,853,826	2,856,228		

2. 一般会計(支出の部)

費目	予算	(内訳)	決算	(内訳)	備考
会議費	43,000		44,000		総会用資料印刷代
事務費	30,000		39,090		諸資料作成費、文房具、貸金庫、他
親睦行事費	60,000		58,318		
補助金	85,000		82,113		
ライフタウンを美しくする会		20,000	0	20,000	
小糸南倶楽部		0	0	0	
小糸南交流ネット		40,000	0	37,937	
こども応援団		25,000	0	24,176	
募金	100,000		65,385		40,000→65,385
日本赤十字		40,000	0	25,385	0→25,385
共同募金		40,000	0	30,000	
年末助け合い		20,000	0	10,000	
各種負担金	122,500		74,050		99,435→74,050
社体協年会費		73,500	0	24,500	
外部団体年会費		49,000	0	49,550	74,935→49,550
各部活動費	50,000		25,478		
自治会活動保険			0		
防犯		10,000	0	9,651	
防災		30,000	0	5,845	
社体協		10,000	0	9,982	
会館維持費	225,000		198,541		
火災保険		45,000	0	42,660	東京海上日動火災保険
水道光熱費		80,000	0	92,581	
修理保全費		50,000	0	4,397	鍵作成
雑費		50,000	0	58,903	掃除道具、コピー用紙、電池、蛍光灯他
慶弔費	80,000		60,490		香料6件
会館改修積立金	300,000		300,000		特別会計へ
支出合計	1,095,500		947,465		
翌年度繰越金	1,758,326		1,908,763		
合計	2,853,826		2,856,228		

3. 特別会計

費目	予算	決算	備考
前年度繰越金	12,143,182	12,143,182	
雑収入	100	806	預金利息
会館改修積立金	300,000	300,000	
合計	12,443,282	12,443,988	全額次年度へ繰越

会計監査報告

令和6年度小糸南自治会の会計報告書について監査したところ、適正である事を認めます。

令和7年2月16日

会計監査

鈴木 明子 印 

鬼丸 浩子 